

2017年7月4日

各位

大阪信用金庫
理事長 樋野 征治

定例調査：第172回 景気動向調査（4～6月期）

- ☆売上DI上昇続く・・・この1年で7.9ポイント上昇
- ☆設備投資が絶好調・・・「実施・予定」初の20%台へ
- ☆問題点「仕入単価上昇」が浮上・・・3業種で5ポイントを超える上昇
- ☆夏季賞与支給6割を維持・・・夏季賞与「支給する」60.5%

●売上DI上昇続く この1年で7.9ポイント上昇

総合では、売上DIが△2.2(前回比+1.3ポイント)、収益DIが△3.7(前回比+1.6ポイント)となり、売上DI・収益DIともに上昇しました。特に、売上DIは上昇を続けており、この1年間で7.9ポイントも上昇しました。

業種別では、小売業の改善が目立ちました。好天が続き、夏物衣料や飲料、食料品の販売が好調だったことが影響したものと思われます。製造業は3期連続で上昇しました。

7-9月期は、総合で売上DI 3.9ポイント上昇、収益DI 2.1ポイントと、ともに上昇と予想しており、明るい見通しとなっています。

●設備投資が絶好調 「実施・予定」初の20%台へ

設備投資は、総合では「実施中」9.6%(前回比+1.4ポイント)、「予定あり」が10.4%(前回比+0.7ポイント)となりました。「実施中」と「予定あり」の合計は20.0%で、調査開始以来初めて20%台に乗りました。

業種別では、製造業が2期連続で増加したほか、飲食業で大幅に増加しました。これら2業種は景況感が改善しており、その影響で設備投資が活発化していると思われます。

●問題点「仕入単価上昇」が浮上 3業種で5ポイントを超える上昇

経営上の問題点は、総合では「仕入単価の上昇」が43.2%(前回比+4.1ポイント)と3期連続で上昇し、2位に浮上しました。特に、卸売業、小売業、建設業で前回比5.0ポイントを超える上昇となりました。鉄鋼や食料品などの価格上昇の影響と思われます。

一方、「売上受注の停滞・減少」は49.2%(前回比+0.1ポイント)となり、前回調査に続き50%を下回りました。売上DIの上昇を受けて問題点とする企業が減少しました。

●夏季賞与支給6割を維持 夏季賞与「支給する」60.5%

夏季賞与支給について、「支給する」が60.5%(昨年比△1.1ポイント)となり、依然として高水準を維持しています。

業種別では、人手不足が深刻な建設業、運輸業で「支給する」割合が60%を超えました。また、景況感が改善している飲食業の「支給する」割合は9.2ポイント上昇しました。

調査時点：2017年6月上旬

対象期間：2017年4～6月（実績） 2017年7～9月期（見通し）

対象企業：当金庫お取引先1,779社（大阪府内、尼崎市）

回答企業数：1,502社（回答率84.4%）

調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社だいしん総合研究所（担当：福井）

TEL：(06)6211-2921 FAX：(06)6211-2930

E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp URL：http://www.osaka-shinkin.co.jp

この街のホームドクター